

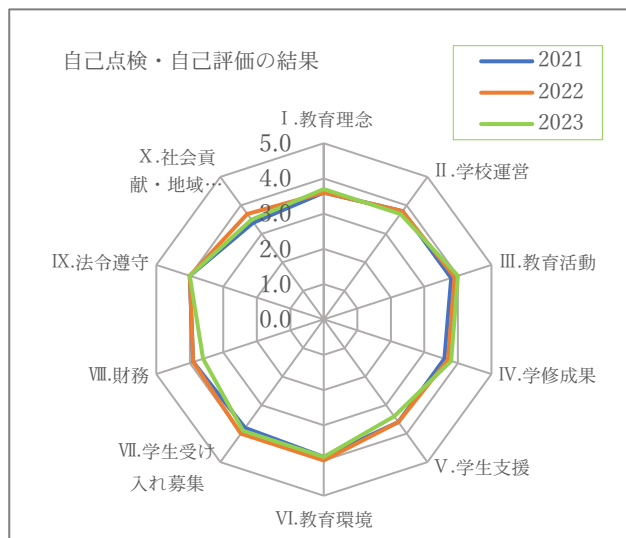
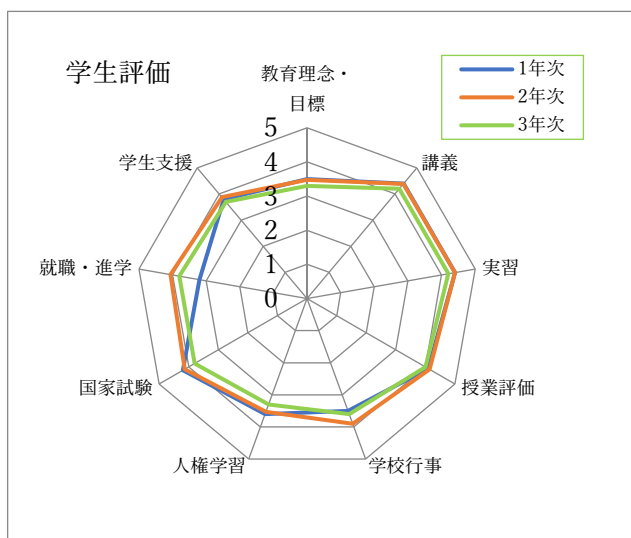
2023 年度 自己点検・自己評価報告書

公益社団法人北部地区医師会
北部看護学校

公益社団法人北部地区医師会北部看護学校評価委員は「2023 年度自己点検・自己評価報告書」に基づいて在校生、職員による評価を実施したので下記の通り報告致します。

表1 評価基準：4段階評価（4:適切 3：やや適切 2：やや不適切 1：不適切）

評価項目	I 教育 理念	II 学校 運営	III 教育 活動	IV 学修 成果	V 学生 支援	VI 教育 環境	VII 学生受け 入れ募集	VIII 財務	IX 法令 遵守	X 社会貢献 地域貢献
2021	3.6	3.8	3.8	3.6	3.6	3.9	3.8	3.9	4.0	3.4
2022	3.6	3.8	3.9	3.7	3.6	4.0	4.0	3.9	4.0	3.7
2023	3.7	3.7	4.0	3.8	3.4	3.9	3.9	3.6	4.0	3.5



基準1 教育理念・教育目的・育成人材像

小項目	評価
1) 学校の設置主旨及び教育を行う理念・目的・育成する人材像などが明確に定められているか	4
2) 育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	4
3) 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	4
4) 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	3
5) 理念等に沿った運営方針を定めているか	4

【特記事項・課題】

本校は、人間尊重を基本とし、時代の変化に対応できる幅広い能力を備え、看護の発展に貢献できる有能な人材育成の建学のもと医療専門職を育成する教育機関であり、各関連施設との連携や協力を得な

がら教育活動を行っている。2022年度から実施された新カリキュラムが2年目となり、地域に密着した教育活動を行っている。新カリキュラムと旧カリキュラムが混在する状況であったが、教員間で連携を取りながら各学年の学習支援をすすめることができた。

教育理念・教育目的、教育目標を学習ガイダンスに提示している。また、入学時オリエンテーションで学生に説明を行っており、保護者には保護者会で伝達している。在学生に対しては教室内への掲示で周知しており、HR等での確認を行っている。

課題：学校の将来構想に向けて設置主体と一緒に話し合いを進めている。

次年度は新カリキュラム完成年度となるため、新カリキュラムでの3年間の評価をディプロマポリシーと関連付けて教育評価を実施していく。

基準Ⅱ 学校運営

小項目	評価
1) 理念等を達成するための事業計画を定めているか	3.2
2) 設置法人は組織運営を適切に行っているか	4
3) 学校運営のための組織を整備しているか	4
4) 人事・給与に関する制度を整備しているか	3.2
5) 意思決定システムを整備しているか	4
6) 情報システム化に取組み、業務の効率化を図っているか	4

【特記事項・課題】

・学校の運営方針は教育理念に基づき運営し、運営会議規程に沿って行われている。

事務職員及び教員間の会議を定期的で開催して職種間の連携を図っている。

事業計画は法人として共通項目（志願者数・入学者数・国家試験合格率・就職率等）について業務、役割分担を行い、目標を定め達成率等を法人に報告している。理事会等は適切に開催及び議事録を作成しており、学校運営に必要な規程等の整備が行われている。

課題：・人事考課に向けて検討中。

・ICTを活用した教育を行うためのサポートは十分に得られているが、業務の効率化に至っていない為、今後も学校の組織運営に携わる事務職員及び教員との連携を強化していく必要がある。

基準Ⅲ 教育活動

小項目	評価
1) 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めている、	4
2) 学科毎に修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	4
3) 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	4
4) 教育課程について外部の意見を反映しているか	3.7
5) 実践的な職業教育（実習）が体系的に位置づけられているか	4
6) 授業評価を実施しているか	4
7) 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	4

8) 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	4
9) 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	4
10) 資格・免許取得の指導体制はあるか	4
11) 資格・要件を備えた教員を確保しているか	3.8
12) 教員の資質向上への取組みを行っているか	3.8
13) 教員の組織体制を整備しているか	4

【特記事項・課題】

教育目的・教育目標に沿った教育課程を編成している。2022年度カリキュラム改正に伴い、1、2年次の学生は新カリキュラムの適応となっている。新設された「学びの技法」「文化人類学」看護形態機能学」「臨床判断能力」「母子子育て実習」「企業実習」等について科目の詳細を十分に説明し、学生が理解を深め取り組めるように配慮した。

多くの認定看護師を含む外来講師による講義を行っており、より実践を意識した内容の講義を実施している。学生が主体的に学び、気づく力、感じ取る力を養っている。

- ・2023年度は専任教員養成講習会の受講ができなかったため、新人教員1名沖縄県実習指導者講習会の受講、また各領域に関連する研修会等にも積極的に参加を促し教員の資質向上に努めた。
- ・教員の資質向上に向けて、今年度より、新人教員に対してプリセプター制度を導入し教育実践の向上に取り組んだ。

課題：2025年度に沖縄県で教員養成講習会が開催されるため、3名の教員の受講を計画している。

教育課程については教育課程編成委員会の意見を反映させているが、他にも外来講師や実習施設等の意見を積極的に取り入れていく。

IV 学修成果

小項目	評価
1) 就職率の向上が図られているか	4
2) 資格・免許取得率の向上が図られているか	4
3) 卒業生の社会的評価を把握しているか	3

【特記事項・課題】

就職活動状況は、学年担当が就職指導、相談窓口となり個別に対応を行っており、就職支援体制は整備されている。就職率は99%。看護師国家試験対策に関しては、1・2年次は学年担当が中心となり学習支援を実施している。

課題：・模擬試験等を1年次から実施し、サポートを要する学生を早期に見出し学習支援、強化を図る必要がある。

- ・卒業生の社会的貢献、活躍については病院や施設と連携して実態を把握していく必要がある。

V 学生支援

小項目	評価
1) 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	4
2) 退学率の低減が図られているか	4
3) 学生相談に関する体制を整備しているか	4
4) 学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	3
5) 学生の健康管理を行う体制を整備しているか	4
6) 学生の生活環境への支援は行われているか。	4
7) 課外活動に対する支援体制を整備しているか	2.3
8) 保護者との連携体制を構築しているか	4
9) 卒業生への支援体制を整備しているか	4
10) 産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか	2.7
11) 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	4

【特記事項・課題】

課外活動に関しては組織として結成されていないが、発足した場合は支援体制が整っている。

学生支援に対しては、学校生活や学習環境に対して、各学生の状況を把握するために学年担当を中心に定期的に個別面談を実施している。支援が必要と思われる学生に対してはカウンセラーの支援へつなげることができた。教員が対応に悩む状況が発生した時は、その都度、カウンセラーや病院受診を促している。

進路変更等で中途退学となる学生に対しても、学生の意思決定を支援する形で学生を尊重し関わっている。

課題：産学連携による卒業後の再教育については次年度の課題とする。

今後も、保護者とともに学生の状況を共有し支援を行っていく。特に学習支援の必要な学生に対しては、3者面談を実施し支援の強化を図っていく。

学校独自の経済的な支援体制がないため整備する必要がある

VI 教育環境

小項目	評価
1) 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	4
2) 学外臨地実習、体制を整備しているか	4
3) 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	3.8
4) 学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	4

【特記事項・課題】

- ・法令遵守に関しては、これまでと同様、専修学校設置基準、看護師等養成の運営に関する指導ガイドラインを踏まえている。
- ・2023年度より、新型コロナウイルス感染症が5類へ移行となり、臨地実習の受け入れが70%可能となり学生の学びが深まったと考える。

- ・教育上必要な教育用具は、適宜新しく購入計画を立て入れ替えている
- ・防災については防災管理規程に基づき、「火災・地震災害時の対応」について全学生職員を対象に年1回実施している。防災訓練は学内で年1回近隣の幼稚園や福祉施設と一緒に実施している。2023年度は県立病院（災害拠点病院）で行われる大規模な訓練に、学生が患者役、ボランティア役で加し、防災意識を高めるだけでなく、将来医療現場で働く上での意識を高めることができた。

課題：施設は老朽化に伴い建物内外の修繕を適宜行い学習環境を整えていく。

VII 学生募集の受け入れ

小項目	評価
1) 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか	4
2) 学生募集を適切、かつ、効果的に行っているか	4
3) 入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	4
4) 入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	3.8
5) 経費内容に対応し、学納金を算定しているか	4
6) 入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取扱を行っているか	4

【特記事項・課題】

- ・学生募集に関して高等学校対象の学校説明会を開催、また、教職員は高校主催の職業教育や教育課程について説明している。
- ・2023年度、オープンキャンパスは1回目オンライン、2回目は人数制限しながら対面での実施ができた。茶話会を通して在校生との交流も行え、学校のイメージを強く感じてもらうことができた。入学者の維持ができるよう、試験内容の見直しや社会人入試の検討等さらなる見直しが必要とされる。また、志願者増加につながるように、2024年度は入学試験の実施計画を見直す必要がある。入学者選考は合否判定体制を整えて公平性をもって適切に運用されている。看護学校への受験者が全国的に減少傾向は続いており、本校も志願者、合格者の推移と評価を行っている。

課題：社会人入試の検討等さらなる見直しが必要とされる。

また、志願者増加につながるよう奨学金の増設を検討していく。

2023年度はSNSによる広報活動を強化していく必要がある。今後、高校や実習施設、近隣施設にポスターを配布し学生の募集に努めたい。

VIII 財務

小項目	評価
1) 学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	4
2) 学校及び法人運営に係る主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	3.9
3) 教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	3.5
4) 予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	4
5) 私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか	4
6) 私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか	4

【特記事項・課題】

財務情報は、法人ホームページに公開しており、事業計画を策定して予算を編成している。財政については収支が均衡に保つよう、教職員の経費節減意識を高め努力している。

課題：施設内外の老朽化、人件費に伴う支出増に対する具体的な対策がないため、今後は収支状況を細かく分析し、コスト管理、支出の状況を明確にする。

IX 法令の遵守

小項目	評価
1) 法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	4
2) 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	3.8
3) 自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	3.7
4) 自己評価結果を公表しているか	4
5) 学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか	4
6) 学校関係者評価結果を公表しているか	4
7) 教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	4

【特記事項・課題】

法令等の遵守、関係法令及び個人情報保護等の規程は整備されており、ホームページ及び学生便覧に掲載して周知している。自己評価、学校関係者評価の公表を計画的に行っている。自己評価で課題となった改善点については次年度内に改善に向けた話し合いと実施を行い、健全な学校運営に反映できている。

今年度は外部講師を招いて、職員全体に向けてハラスメントに関する研修会を実施。

課題：次年度も継続して研修を取り入れハラスメント防止に役立てていく。

X 社会貢献・地域貢献

小項目	評価
1) 学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3.4
2) 学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	4

【特記事項・課題】

高等学校の韓国語講師として、事務職員1名派遣し地域貢献を担っている。

2023年度はボランティア活動を再開でき、1、2年次の学生は夏季休暇を中心に地域のボランティア活動に参加、3年次の学生6名は中学生を対象に読み聞かせのボランティアに参加した。

それぞれの学生が興味ある分野に対して、積極的に参加し社会貢献・地域貢献に繋がった。

課題：ボランティア活動を奨励していく。